

## 公益社団法人日本放射線腫瘍学会

### 2022年度（2022年9月1日～2023年8月31日）事業計画書

#### 1. 学会等の学術的会合の開催及び学術研究の支援

- 第35回学術大会を2022年11月10日～12日、リーガロイヤルホテル広島 他（広島市）にて開催し、第35回学術大会報文集を発行する。
- 小線源治療部会、生物部会、高精度放射線外部照射部会における学術大会を開催する。
- 優れた学術研究計画の選出を行い、その研究支援および論文投稿の助成を行う。
- 欧州放射線腫瘍学会（ESTRO）とのMOUに基づき、第35回学術大会にて共催講演を行い、2023 ESTRO（ウィーン）でのジョイントセミナー開催のため代表者派遣を行う。
- アジア放射線腫瘍学連盟（FARO）への活動支援のため代表の派遣、事務局支援を行う。
- 米国放射線腫瘍学会（ASTRO）への活動支援のため代表の派遣とMOU締結を行う。
- 日本放射線腫瘍学会（JASTRO）、韓国放射線腫瘍学会（KOSRO）、中国放射線腫瘍学会（CSRO）の3カ国の放射線腫瘍学会の共催シンポジウムを行う。
- 日本台湾放射線腫瘍学シンポジウム（台湾）の支援を行う。
- FARO、IROS（International Society of Radiation Oncology）、IAEA等の参加国として教育資料等コンテンツの英語化を推進する。
- がん放射線治療看護セミナー等の放射線治療に関連するセミナー開催の支援を行う。
- 放射線医学・治療の学術・医療技術の相互理解を深めるため、日本緩和医療学会、日本放射線影響学会等との合同シンポを開催する。

#### 2. 学会誌等の刊行

- 機関誌（英文の研究論文集”The Journal of Radiation Research”）を年度計6回オンラインにて発刊する。特集号（粒子線治療成果論文、ガイドライン）を発刊する。
- 世界に向けて広く発信する英文機関誌の普及・向上を目的として、Highly cited award、優秀査読者賞の顕彰事業を行う。優秀論文の投稿促進のため、招待論文制を実施する。
- ニュースレターを年4回刊行する。

#### 3. がん等の放射線治療についての普及、啓発活動

- 放射線治療についての理解・普及を目的として、放射線治療PR活動（コミック、動画等利用）を実施する。
- 粒子線治療の普及を目的として一般・患者さん向け書籍の出版準備を行う。
- 緩和的放射線治療の普及のため一般・患者さん向けリーフレットの配布を行う。
- 当学会ホームページに一般向けのコンテンツ・動画を掲載し、当学会会員以外への情報提

供を行う。

- 医師・メディカルスタッフ（診療放射線技師・医学物理士・看護師）の海外留学・研修の支援事業を行う。
- がん放射線治療の最新情報の広報活動として、プレスカンファレンスを行う。
- 医学生・研修医向けにレジナビメール配信や放射線腫瘍学講座の紹介動画を公開し、広報活動を行う。
- 医学生・研修医の自己啓発の場として、医学生・研修医のための放射線治療セミナーを開催する。また、参加者のフォローを継続的に実施する。
- 研究者等の奨励を目的として、阿部賞・梅垣賞の顕彰事業を行う。
- 地域等の放射線治療の進展を目的として、地域貢献賞の顕彰事業を行う。
- 優れた学術研究課題に対して、必要資金の一部を助成する。
- 放射線治療における優れた研究成果を広く還元することを目的として、関連する他領域の学術団体での発表を支援し助成する。

#### 4. がん等の放射線治療の標準化に資する事業

- 放射線治療従事者への教育を目的として、教育講演を行い、講義コンテンツを掲載する。
- 専門性に特化した教育的事業として放射線生物学セミナー・放射線治療物理学セミナー、小児がん放射線治療セミナー、若手医師の教育を目的として放射線腫瘍学夏季セミナーを行う。
- 欧州放射線腫瘍学会（ESTRO）教育委員会とのミーティング派遣を行う。
- 細胞・分子レベルの放射線治療標準化を目的として、RI 内用療法セミナーを実施する。
- 小線源治療技術教育のための小線源治療ハンズオンセミナーを開催する。
- 粒子線治療に関し、先進医療の枠組みで治療患者の全例登録を行うとともに臨床研究を推進する。また、先進医療実施施設への施設訪問を行う。粒子線治療全例登録（統一治療方針）によるエビデンス創出に努めるとともに、システマティックレビュー等も行い、さらなる保険収載を目的とした活動を行う。
- がん治療における緩和的放射線治療の評価と普及啓発のため、国内における実態調査を行い、結果を解析し、普及・啓発に向けた具体的な対策を立案する。
- 第三者出力線量評価認定制度の運用を開始する。
- 治療計画の標準化を目的として、強度変調粒子線治療ガイドライン・IMRT 物理技術ガイドライン改訂版の発行を行う。また、放射線治療が関係する各種ガイドラインの作成委員派遣及び外部評価を行う。
- 放射線治療計画ガイドラインモニタリング指標に関する研究まとめを行う。
- JASTRO 用語集・略語集改訂版を学会ホームページに掲載し、メンテナンスを行う。
- 2023 年放射線治療専門医の資格更新ならびに認定作業を行う。

- 第 32 回放射線治療専門医試験の実施ならびに認定作業を行う。
- 日本専門医機構サブスペシャリティ領域認定の研修カリキュラム申請システムを整備し運用を開始する。また、サブスペシャリティ領域治療専門医の認定および更新の整備規準の策定等の準備を行う。
- 放射線治療施設の実態と個々の治療症例の診療内容を調査することを目的として、全国放射線治療実態調査（構造・症例）を新システムにて実施する。
- 日本放射線腫瘍学会認定施設  
安全かつ高精度な放射線治療を推進することを目的として定める基準を満たす施設の認定を行う。
- 安全な放射線治療を推進することを目的として、アクシデントの事例の原因を調査・解析し、注意勧告を行う。また、依頼のあった第三者評価を実施する。
- 改正医療法の施行に伴う放射線治療における位置照合画像撮影に関する指針作成を行う。
- 放射線治療における品質保証・医療安全の Quality Indicator に関する調査を実施する。
- 放射線治療に関する診療報酬制度の適正化と追加・修正を検討し要望活動を行う。そのための様々な医療技術について費用対効果分析を行う。
- 強度変調放射線治療（IMRT）の普及と推進を目的として、医学物理士認定機構（JBMP）、他各関連団体と連携して、新たな IMRT 施設基準の検討を行う。
- 強度変調放射線治療（IMRT）と定位放射線治療の標準化を目的として、実態調査を行う。
- MR 画像誘導即時適応放射線治療に関する人材育成、研究推進を行う。
- 国内での転移性脊椎腫瘍に対する体幹部定位放射線治療を普及・促進することを目的として、当会ホームページへの教材の掲載・WEB 講演会の開催を行う。
- 適切な放射線治療の提供体制の検討と提言を行う。

#### 5. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

- 放射線治療における AI（人工知能）の活用等検討を、ワーキングにて行う。
- 新規予算・事業については、各委員会より提出された企画書（見積含む）を、財務・総務委員会にて審査を行い、承認された案件のみ理事会審議にかける手順変更を行う。